います。

朗読VG幸手(会員数8人) ・昭和 56 (1981) 年 12月 16日に会員 20人で発足。 ・最初の音訳は昭和 57 (1982) 年 3 月に発行した広報 ・38 年が経過した現在でも、利用者のために広報さって、 社協さって市などを音訳し、情報を届けています。 このほか、会員が選んだ物語を録音した 広報さって(音訳版)ができるまで

広報さっての音訳 割り振り

録音

振りを行います。 代で行っています。 のような構成で録音 つに分かれ、毎月交 はA班・B班4人ず していくのか、 誰がどの部分をど

も届けています。



使用し、 基本は 録音機を パソコンやデジタル割り振られた部分を録音します。

それぞれ行いま 声が入ったり…。 入ったり、動物の鳴き 会員の自宅で 録音中に生活音が

録音ならではの苦労もあるそうです。

3

編集

す。 で聞けるかを確認しま 際に利用する再生機器 に入れていきます その後、郵便封筒

録音したCDが、

確認•郵送

で届ける



紙発行日に届くよう 便局に持参し、 の音訳版利用者は10 人。月末にCDを郵 現在、広報さって 広報

に郵送します。

書き込んでいきます。 後、CDにデータを

パソコンやデジタ

にします。

編集終了

とつの音声ファイ

とつの音声ファイルナータをまとめ、ひ

きます

ら、作業を進めてい 員同士教えあいなが ル録音機の操作は会

*明読ボランティアを始めて印象に

用者と交流会を行っていますが、 にしているよ。」と言ってもらえる こで、「いつもありがとう、楽しみ 同い年の全盲の人がいて、その と、とてもうれしくなります。 ほかにも、利用者の中にたまたま 年に1回、

出来事ですね。 も増えました(笑)。 が好きになりましたし、 あとは、朗読を通してますます本 読める漢字

でも1日に1冊は読んで:

人会のきっかけは、

図書館を利用

私自身、とにかく本が好きで、今

読VGに入会したきっかけは

朗読VG幸手

会長

仲良くなれたことがとてもうれしい

朗読>G幸手に入会し、 小林茂子 さん

現在5年目

らうなど、利用者が増えるとうれ 苦労している高齢の人にも聞いても いですね。 今、 の人ですが、 利用されている人は全員が全 広報紙を読むことに

される、

音訳朗読講習会のチラシを

いたとき、

ウェルス幸手で開催

*広報を音訳する際、

気をつけてい

るポイントは

広報はお知らせですので感情を込

分かりやすく音訳することを

みて興味をもったことです。

*新規会員の募集は

しています!

が引退してしまったので、 今年の春に長年活動してきた会員 募集中で

意識しています。逆に物語はしっか

り感情を込めるようにしています。

そうは言っても、

音訳に正解・不

る人でもできるボランティアです。 楽しく活動しませんか? ます。ぜひ、朗読VG幸手に入会し、 自宅で行うので、平日お仕事してい 基本平日に行っていますが、 会員みんなで、楽しく活動してい 割り振りや定例会などの活動は、 録音は

れ個性をもって音訳しています。 正解はありませんので、会員それぞ

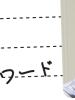
MEMO





























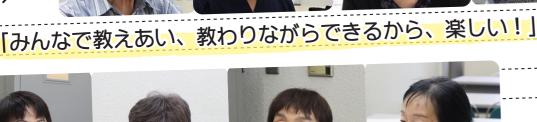












入会希望の人やCDを希望する人は、 幸手市社会福祉協議会へ!

25 (43) 3277

お気軽に